

令和6年度 全国 多自然川づくり会議



2024年12月 愛媛県土木部河川課

魅力的な水辺空間を目指した蒼社川下流域に おける取り組みについて

今治市について

1

● 今治市の概要

- 今治市は愛媛県の北東部・瀬戸内海のほぼ中央に位置し、人口は松山市に次ぐ県下第2位の都市
- 産業は港町を中心とした商業都市として、また、タオル、縫製、造船などの基幹事業がある。
- 観光では、高速道路上を走行可能なサイリング大会や今治城など多種多様な観光資源がある。



GoogleMapより



スゴフサHPより



公益社団法人
今治地方観光協会HPより



いよ観ネットHPより



今治城

今治市HPより

● 蒼社川の概要

- 蒼社川は愛媛県今治市の中心部を流れる二級河川

● 蒼社川の諸元

幹川流路延長:22.6km

流域面積:102.8km²

支川数:12支川



蒼社川の様子

■ 蒼社川の位置



出典：今治市都市計画マスタープラン

蒼社川における多自然川づくりについて

3

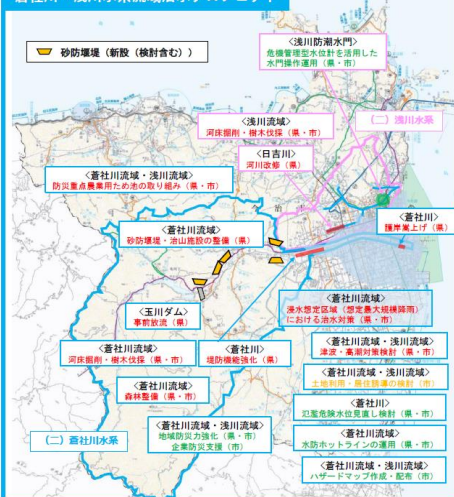
蒼社川・浅川水系 流域治水プロジェクト [対策内容]

～【“市民が真ん中”のまち今治】ひとりひとりが輝く今治を守る防災・減災対策～



平成30年7月豪雨で甚大な被害が発生した今治市。気候変動の影響により日々増大する水害リスクを軽減させ、「防災・減災対策で災害に強いまち“今治”」を目指して、市民を含めた流域のあらゆる関係者が協働し、「流域治水」による対策に取り組む。

蒼社川・浅川水系流域治水プロジェクト



蒼社川・浅川水系流域治水プロジェクトの主な取り組み

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ◎河川整備計画に基づく河川改修の推進
 - ◎河床面削りや樹木伐採による即効性のある治水対策
 - ◎砂防堰堤・治山施設の数増による土砂・洪水の流出抑制対策
 - ◎ダムの事前放流の実施
 - ◎雨水貯留機能の確保
 - ◎森林整備による水源涵養機能向上
 - ◎津波・高潮対策の検討

被害対象を減少させるための対策

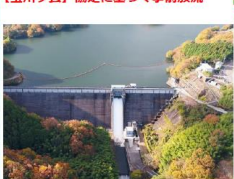
- ◎立地適正化計画等による土地利用や居住誘導の検討
- ◎土砂災害警戒区域の指定等

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- ◎住民・地域・企業・まち全体で取り組む減災対策
- ◎「逃げ遅れゼロ」「リードタイムの確保」に向けた避難体制強化
- ◎水害リスク情報の提供（危機管理型水位計を活用した水門操作運用）

※関係者で連携して、詳細な内容や新たな対策を検討する。

【玉川ダム】協定に基づく事前放流



【浅川防潮水門】危機管理型水位計を活用した水門操作運用



■平成29年台風18号
氾濫危険水位超過(蒼社川)



蒼社川水系 流域治水プロジェクト



ニホンウナギ



オイカワ



アカザ



ミナミメダカ



トビハゼ



カワヨシノボリ



オオヨシノボリ

蒼社川流域における重要種

令和3年11月に「蒼社川・浅川水系 流域治水プロジェクト」を策定

あらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を推進している

文献等から蒼社川流域にはニホンウナギなど多くの重要種が生息していることが分かっている

みお筋を残すなど生物の生息箇所の保全に努める河川整備の実施を検討

蒼社川における不法占用物件の概要

【背景】

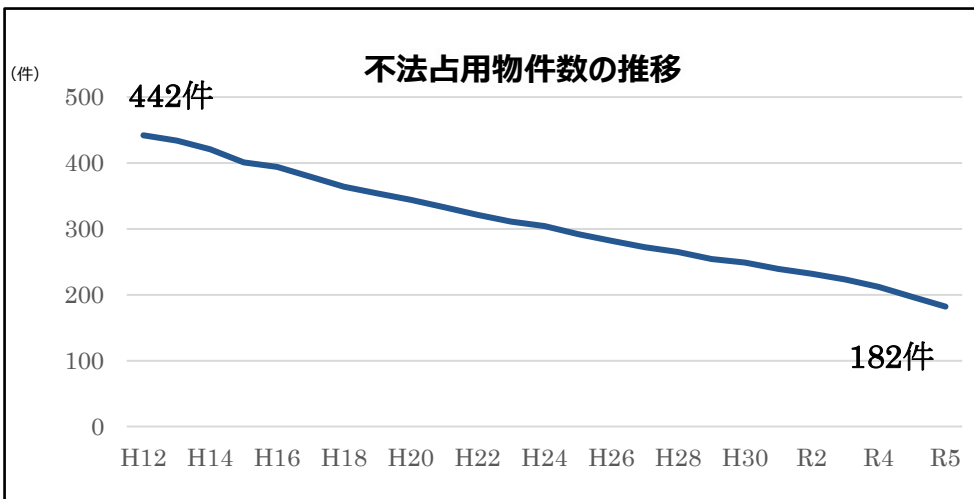
- 戦後の混乱期に応急対策として建てられた**不法占用物件が昭和50年度には約700件**

⇒残存すると不法占用物件が支障となり、堤防が破堤した場合、地域の社会・経済活動に甚大な被害が生じる恐れ

⇒治水上、防災上の支障となることはもとより、近年ではYouTubeにおいて、「蒼社川不法占拠スラム」として取り上げる動画が投稿されるなど、風評の観点においても問題となっており早急な対応が不可欠



平成13年度より蒼社川環境整備促進協議会を設置し、今治市、警察等と連携し不法占用物件の解消に向けた取り組みを実施



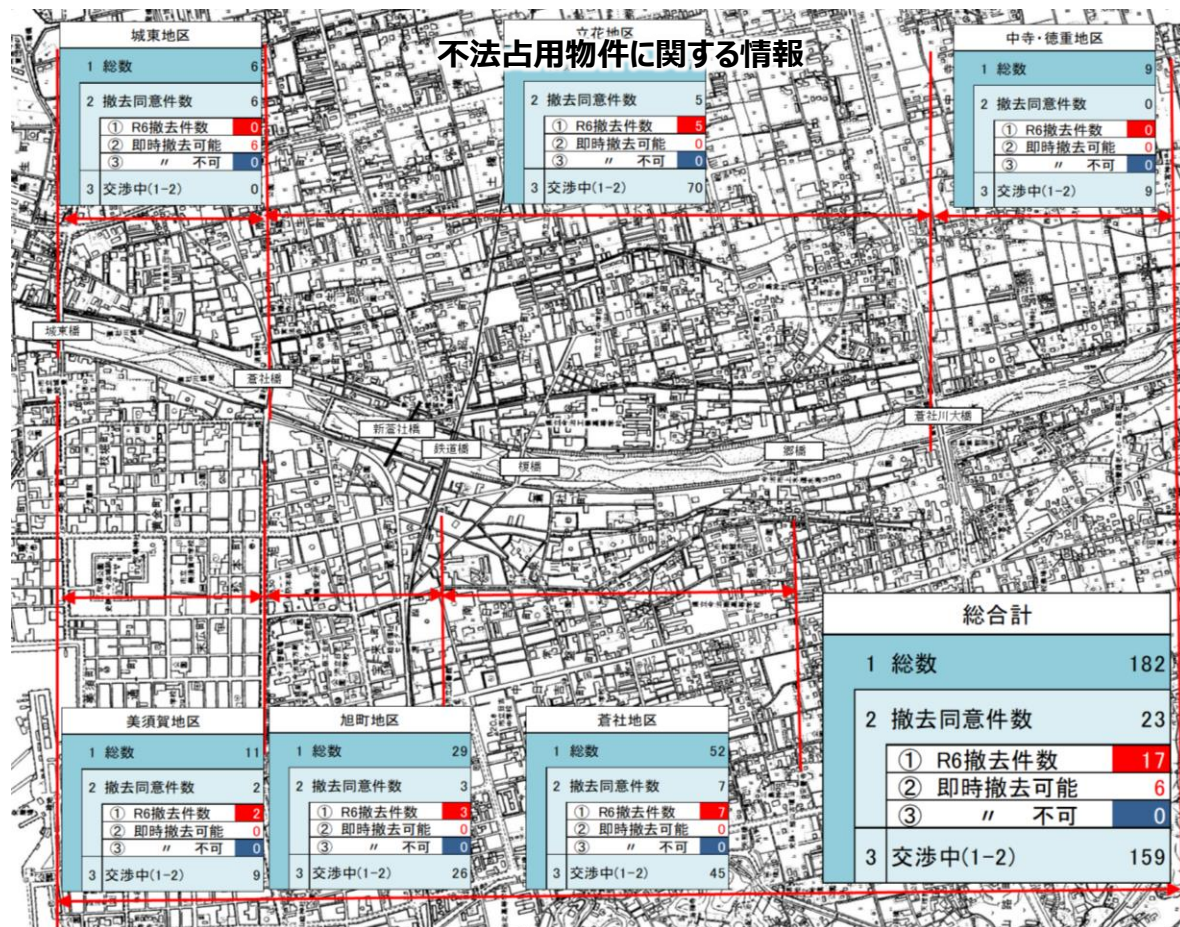
現在は撤去予定も含めて約180件

毎年**約 10 件程度**、不法占用物件を撤去

蒼社川における不法占用物件の概要

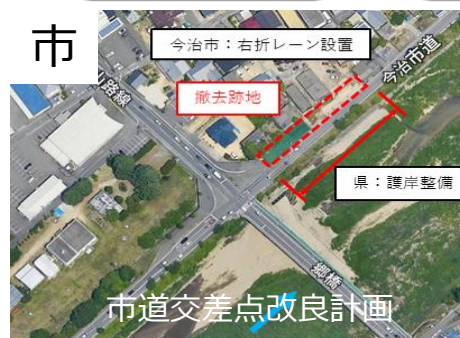
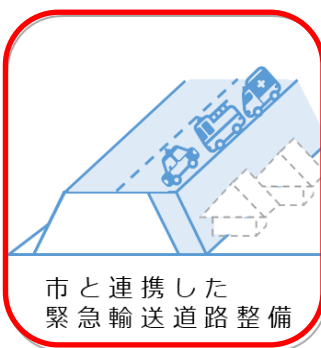
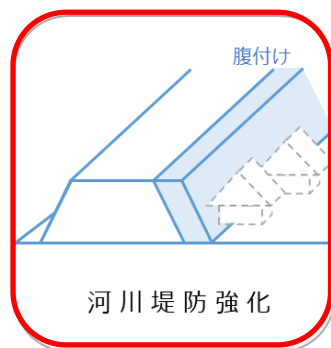
5

- 県では順次、撤去に向けて住民と交渉しており、撤去が完了した敷地は「**防護柵**」と「**防護シート**」により進入できないように処置している



愛媛県では、今治市を流れる蒼社川を対象に不法占用されている家屋に対する撤去事業を推進しており、**県と市で協働し蒼社川を活用したまちづくり**へと展開を図ることを目指しています

若手職員を対象としたワーキング（WG）を行い、蒼社川下流域における**不法占有家屋撤去後の蒼社川の将来像**を作成



蒼社川の現状確認・現況整理

第1回
(2024年3月13
日)

- 利用者（調査時間帯を意識）＝人・自転車・車の動きの観察
- 対象地周辺の公共空間の一体利用に向けた可能性と課題の整理
- 河川背後地の施設・土地利用からみた利用可能性の想定 など



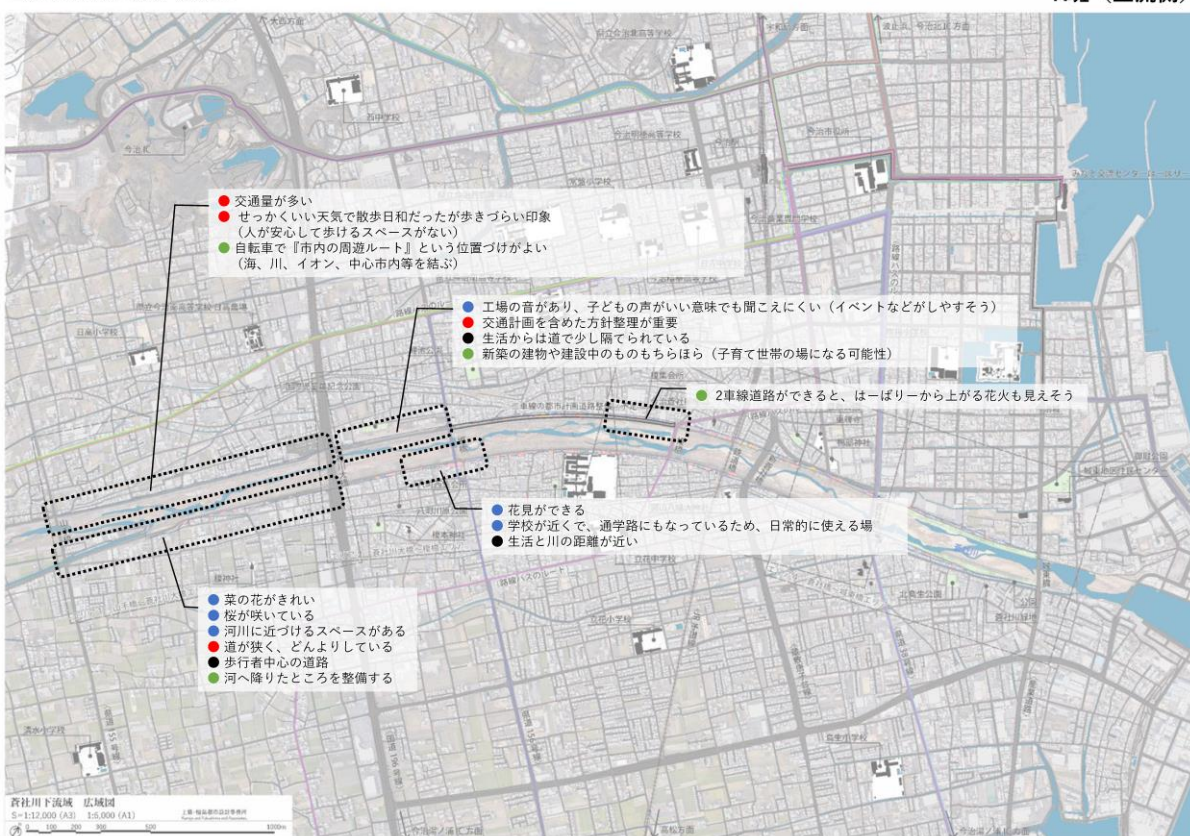
2班に分かれて現地調査を実施



現地調査終了後、意見交換を実施

■第1回WGにおける意見

A班（上流側）



第2回 (2024年4月15 日)

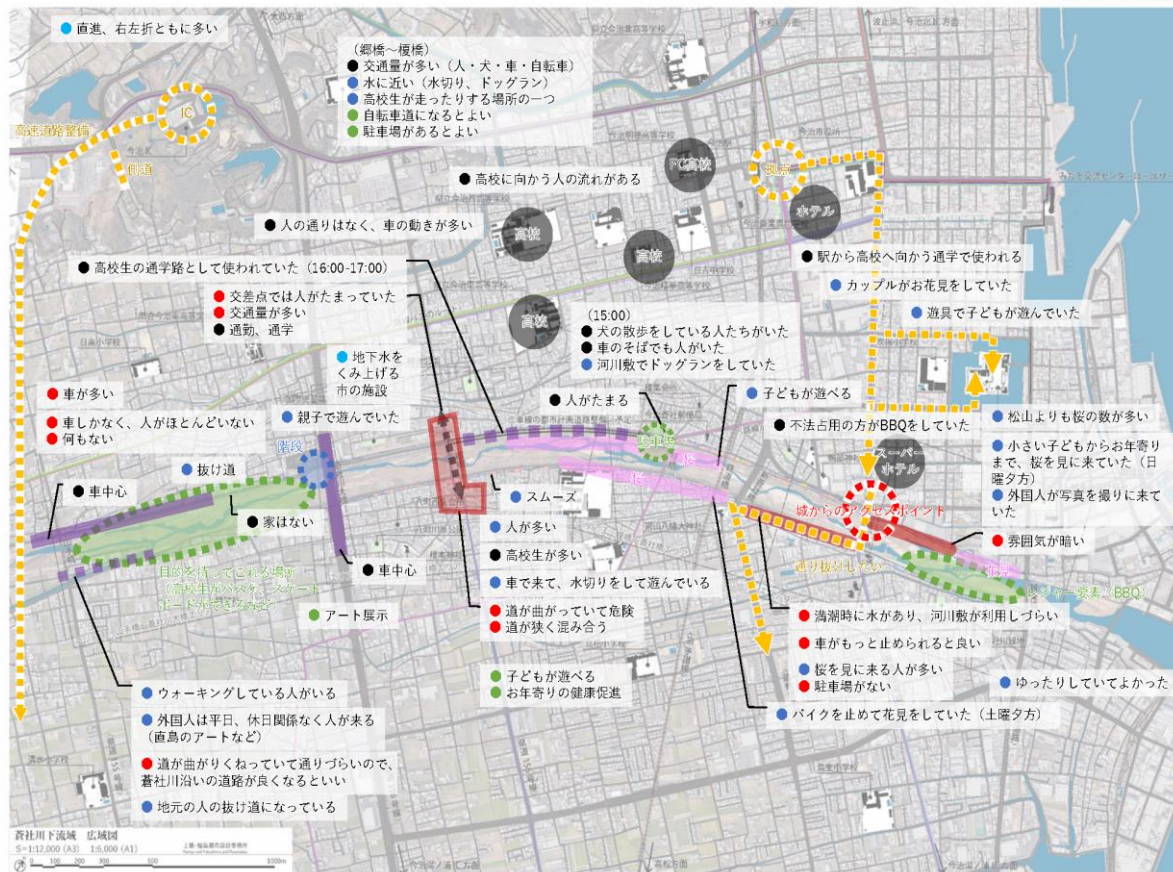
蒼社川の将来像のコンセプトの検討

- 『蒼社川下流域デザイン構想』のコンセプトの検討
- コンセプトを実現するための整備内容・整備エリアの提案
(短期・長期別に検討) など



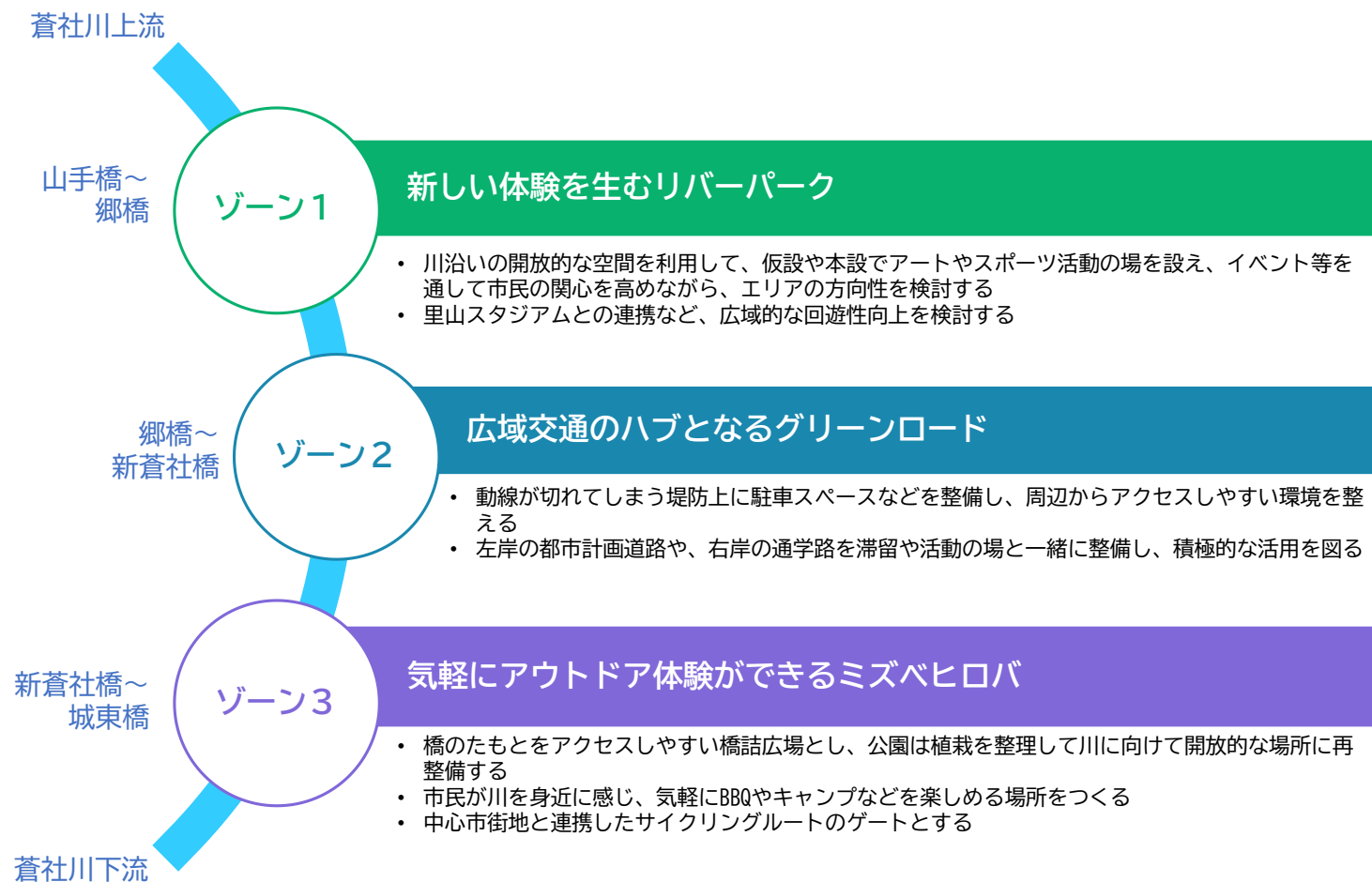
班ごとにゾーニングや整備内容等を
とりまとめて発表

■第2回WGにおける意見



ゾーニングの設定

蒼社川の対象エリアについて、「新しい体験を生むリバーパーク」、「広域交通のハブとなるグリーンロード」、「気軽にアウトドア体験ができるミズベヒロバ」の大きく3つのゾーンに分けて活用の方針を設定しました。



現況



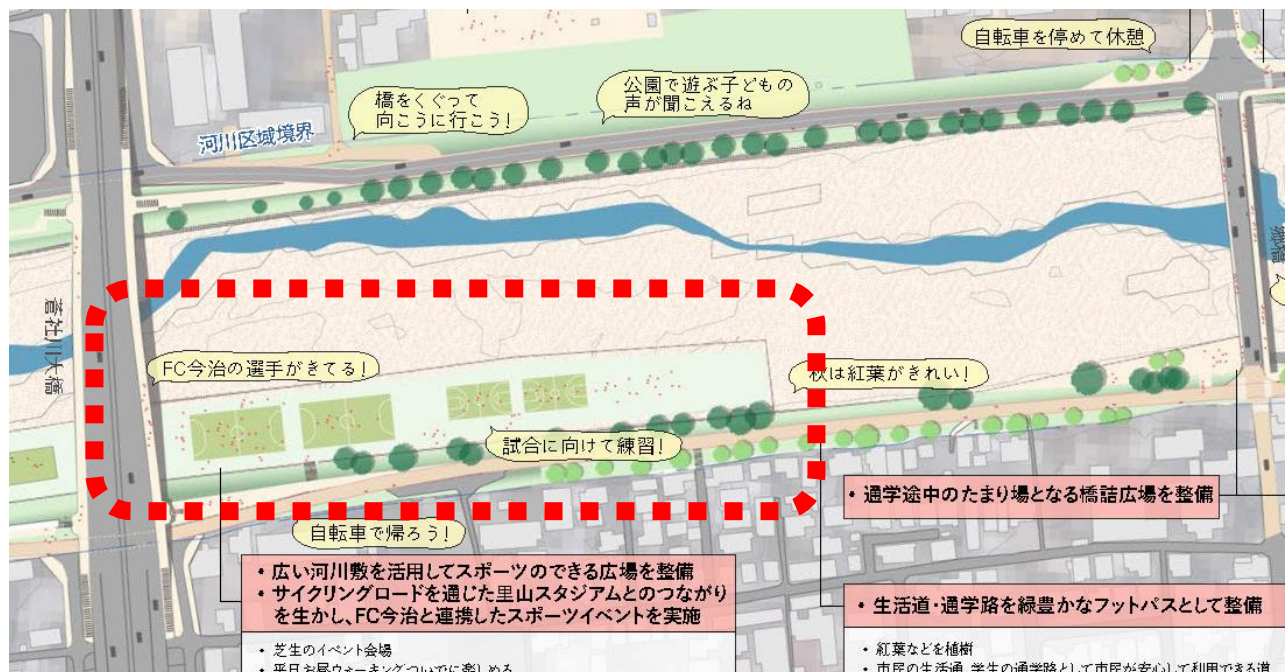
右岸の郷橋近くの河川敷



右岸の道路

（蒼社川大橋～榎橋）

新しい体験を生むリバーパーク



スポーツイベントの拠点

- 広い河川敷を活用してスポーツのできる広場を整備
- サイクリングロードを通じた里山スタジアムとのつながりを生かし、FC今治と連携したスポーツイベントを実施



芦田川かわまち広場（福山市）

<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/2003930f53f1482784a5a716b43f4662d1e0a3ff>



FC今治によるサッカー教室

<https://c-kogaku.com/news/archives/art/00054.html>

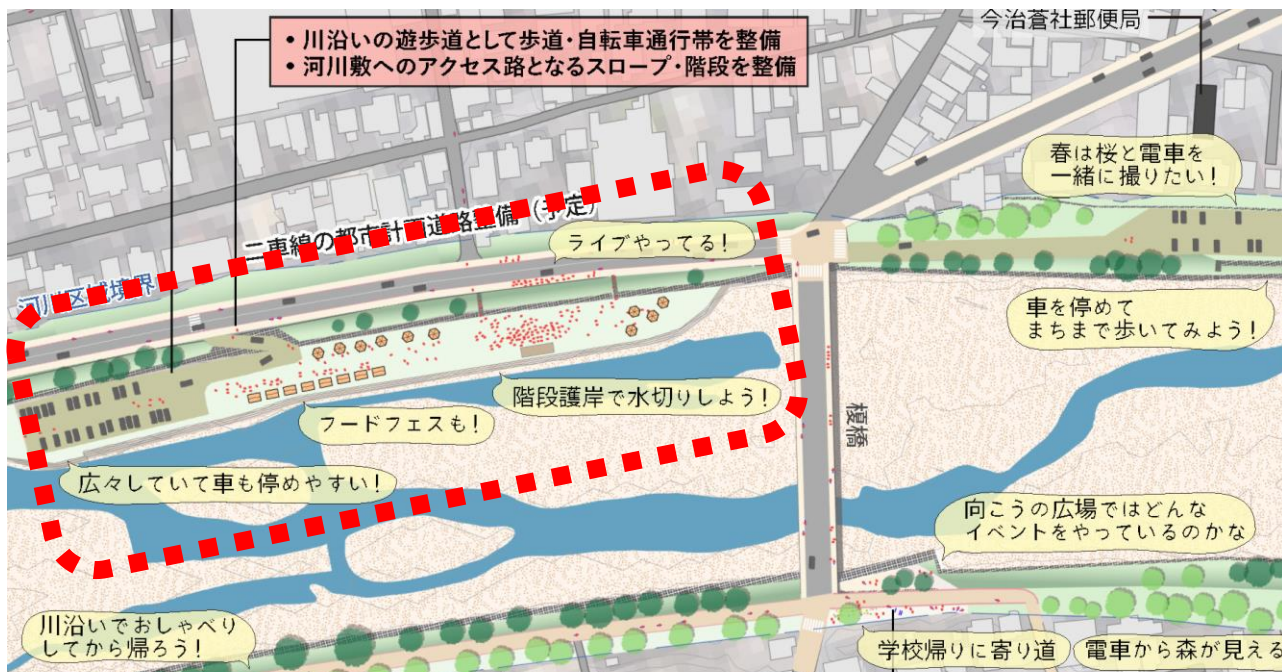
若い世代を中心にスポーツ・イベントを楽しめる広場

現況



（榎橋～蒼社橋）

広域交通のハブとなるグリーンロード



川に近いイベント広場

- ・ 左岸の榎橋近くは、川に近づく河川敷を活用して規模の大きいイベントにも対応可能な広場を整備
- ・ 榎橋から活動・賑わいが見えるように広場・駐車場の機能を配置



<https://one-river.jp/diary/entry-742.html>



<https://one-river.jp/diary/entry-742.html>

様々なイベントに対応した広場

現況



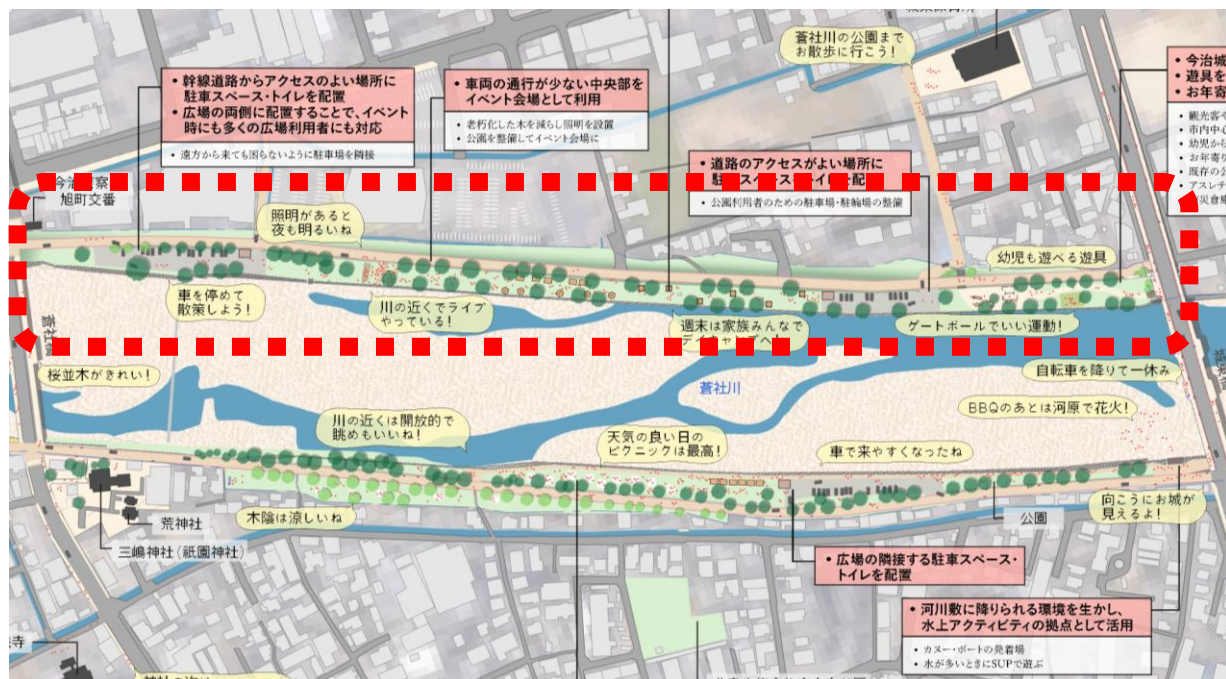
左岸の公園・道路



公園内の遊具

（蒼社橋～城東橋）

気楽にアウトドアが体験できるミズベヒロバ



活気と賑わいのある広場

- ・ 左岸の公園は、中心市街地からのアクセスの良さを生かし、自然の中でキャンプやBBQを楽しむ広場を整備
- ・ 既存の遊具を活かし子どもたちが安心して遊べる環境を整備



水辺でのキャンプ（岡崎市）

<https://okazaki-kanko.jp/feature/quruwashisatsu/kawamatidukuri>

賑わいのある水辺の広場・公園



遊具広場（岡崎市）

「今治の都市の“えんがわ（縁側）”蒼社川再生プロジェクト」の 具体化に向けた今後の取り組み

- 不法占用物件の撤去（継続）
- 市道猪熊榎線と県道桜井山路線の交差点改良（右折レーン設置）（R6）
- 「自転車ネットワーク計画」に蒼社川沿いのサイクリングロードを位置づけ（R7）
- 河川堤防の強化、耐震化
- 堤内外緑地の整備（将来構想）
- 都市計画道路の整備（将来構想）

事業主体：●県、○市



今治市長へ「蒼社川下流域デザイン構想（素案）」説明状況



関係者集合写真
(今治市長 後列左端)

蒼社川において、魅力的な水辺空間を目指すため



第1ステップ：蒼社川沿川の不法占用家屋撤去
⇒水防活動の効率化

第2ステップ：撤去後、護岸等の整備を推進
⇒地域住民の安全性確保

第3ステップ：関係機関と連携し、河川環境整備を推進
⇒活気と賑わいのあふれる「えんがわ」の創出

【設計関係者】

株式会社パスコ

【関係機関】

今治市役所

【ワーキンググループ構成員】

- ・今治市（道路課、サイクルシティ推進課、港湾漁港課、農業土木課、
防災危機管理課、市民が真ん中課、建築住宅課）
- ・愛媛県今治土木事務所（道路課、管理課、河川港湾課）